

## 農研機構が育成した挿し木繁殖可能な台木について

令和 8 年 5 月 28 日

農研機構リンゴ研究領域 岩波 宏

### 【高密植栽培の台木】

- ・ 一般にわい性の M. 9 台木が利用されている
- ・ M. 9 は挿し木発根性がないことから、M. 9 台木と同等のわい化程度を示し、挿し木繁殖可能な JM 1 台木を育成。効率的な苗木生産が可能

### 【JM 1 台木の特徴】

- ・ マルバカイドウ ‘セイシ’ × M. 9 の交雑種、1999 年 9 月に品種登録（2024 年 9 月に登録失効）
- ・ JM 1 の挿し木活着率は 85% と実用レベル
- ・ 台木として利用した場合、JM 1 台は M. 9 台と同等のわい化能力を有し、多収性である（表 1）
- ・ JM 1 台 ‘ふじ’ の果実品質は、M. 9 EMLA 台 ‘ふじ’ と比較すると、高品質果実を生産できる（表 2）
- ・ ‘ふじ’、‘さんさ’、‘千秋’、‘王林’ との接木親和性は中～良
- ・ 耐病虫害性は、根部疫病、高接病（ASPV）、斑点落葉病、黒星病、リンゴワタムシに抵抗性
- ・ リンゴの栽培地帯全域に適している



農研機構盛岡研究拠点内圃場における  
11 年生 JM1 台木 ‘ふじ’ の高密植栽培の様子  
（筆者撮影、2022 年）

### 【JM 1 台木の留意点】

- ・ 苗木の定植に当たっては、M. 9 台木と同様に、倒伏防止のための支柱を要する
- ・ 土壌環境が悪いと挿し木の活着率が低下する

表1 農研機構盛岡拠点におけるJM1台木に'ふじ'を接木した14年生樹の特徴

	樹高 (m)	幹周 (cm)	累積収量 (kg)	わい化度
JM 1	4.3	41.7	338	わい化Ⅰ (M.9相当)
M.9 EMLA	4.4	46.3	337	わい化Ⅱ (M.26相当)
M.26EMLA	5.2	59.3	373	半わい性 (MM106相当)

EMLAはウイルスフリー樹で、ウイルスフリーでない樹に比べてやや樹勢は強い傾向にある副島ら，2010から抜粋して作成

表2 農研機構盛岡拠点におけるJM1台木に'ふじ'を接木した成木樹の果実品質

	果実重 (g)	糖度 Brix%	リンゴ酸 (g/100mL)	果実硬度 (lbs)
JM 1	264	15.3	0.42	16.8
M.9 EMLA	256	14.4	0.41	15.9
M.26EMLA	262	14.3	0.43	15.5

表中の値は、11～14年生樹の4か年の平均値を表す

EMLAはウイルスフリー樹である

副島ら，2010から抜粋して作成

(参考文献)

副島淳一ら. 2010. リンゴわい性台の新品種 'JM1'、'JM7' および 'JM8' . 果樹研究. 11: 1-16.

農研機構 HP. 品種詳細. JM1

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/0400/0413/001303.html>

小池洋男. 2017. リンゴの高密度植栽培. 農山漁村文化協会.

岩手県農業研究センター園芸畑作部果樹研究室. 2001. 品種 りんごわい性台木「JM1」. 平成13年度試験研究成果